

7/1  
(木)

## 第71回社会を明るくする運動 安全な地域づくりのために

犯罪や非行をした人たちの更生に理解を深める「第71回社会を明るくする運動」の伝達・出発式が7月1日、役場でありました。これは同運動強化月間である7月に毎年行われているものです。

当日は、出水保護区保護司会長島支部の豊田直俊保護司が内閣総理大臣からの、同支部の垂門津奈子保護司が県知事からのメッセージを川添健町長へ伝達しました。

豊田保護司は「立ち直ろうとする人を地域の輪に

迎え入れ、誰一人取り残さない社会を構築することが重要です」と力強く述べました。



川添町長にメッセージを伝達する豊田保護司(写真左)

7/9  
(金)

## 町建友会がボランティア きれいな海岸を守る

7月9日、長島町建友会は小浜海水浴場と松ヶ平海水浴場周辺のボランティア清掃活動を行いました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で海水浴場は閉鎖となりましたが、きれいな海岸を守るために会員42名が作業に励みました。

初夏の日差しを浴びながら、会員らは道路上にとび出した支障木の伐採や道路・駐車場の清掃に汗を流しました。

同会の木場盛二会長は「海水浴場が使用できる

ようになって、訪れるかたがたが安心して楽しむでもらえたら」と語りました。



清掃作業に励む会員ら

7/15  
(木)

## マルイ農協「ふるさと文庫」寄贈 本との出会いを大切に

7月15日、獅子島小学校(川路勇策校長・36人)へマルイ農業協同組合(出水市:岡田一弘代表)が行って



寄贈された本と記念撮影した児童ら

いる図書寄贈事業「マルイふるさと文庫」の贈呈がありました。

これは、同組合が企業の在り方を考えながら地域に貢献していくことを目的に昨年度から行っている事業で、町内では今年度から寄贈が始まりました。

川路校長は「いただいた本を読んで学ぶことが恩返しとなる。将来大人になったときに地元のために役立つ人になってほしい」と子どもたちに語りました。

本年度は他に伊唐小学校と平尾小学校に寄贈され、2年かけて町内全小学校へ寄贈される予定です。